

特集

農業水利施設内の「ゴミ」問題

▶ シリーズ①

水土里ネット秋田 農業関連施設「ゴミゼロ」実践取組計画 H22.4.1

『県民の手で、食の安全・安心を』

クリーンな水環境を創出し、消費者への安全・安心な農産物を提供するために、私たちは農業関連施設におけるゴミ問題に取り組みます。

▼ 背景と位置付け

①農村地域では、混住化の進展や農作業方式の変化に伴い、農業用排水路への一般ゴミや農業用資材廃棄物等の投棄で、社会全体のゴミ問題と同等にその対策に苦慮しております。

②農業関連施設を管理する土地改良区は、ゴミ処理にスクリーン等を設置し多くの労力を払い、農作業に支障を来さないよう努め、その経費のほとんどを農家が負担する賦課金によって賄っております。

③国民の環境問題への関心が高まる中で、消費者は「食の安全・安心」を強く望み、生産者サイドでも化学肥料や農薬の大幅な低減を図り、消費者ニーズに応えるべく有機農業への取り組みも、多く見られるようになって来ています。

④クリーンな水環境の創出は重要課題であり、農産物の生産に欠くことの出来ない「水」への関心を深め、地域住民と農業者の共通意識による「ゴミゼロ」運動の展開が、結果として、米価の低迷により厳しい運営を強いられている土地改良区の運営改善に結びつくことを、目的とするものであります。

▼ 基本理念と基本目標

ゴミ問題を農業関連施設に特化し、活動を展開する。

■ 基本理念

「安全・安心」な農産物生産環境の創出

■ 基本目標(取り組み事項)

- ①農業関連施設でのゴミ発生原因の究明（地域における状況把握と防止策の検討）
- ②土地改良区でのゴミ処理経費軽減の方策提案（土地改良区の実態を調査し負担軽減を図る）
- ③農業者への「水」に対する意識の浸透（下流域への配慮意識、水質保全）
- ④地域住民のゴミ投棄への意識改革（急ぐのではなく、熟成させる時間も必要、農地・水・環境との連携）
- ⑤行政、民間も含めたネットワークの形成（「安全・安心」への意識の共有）



【この計画のねらい】
「食の安全・安心を水の観点から」

ゴミの実態を把握します

生産者の協力
 「安全・安心」は水から

使用した水(排水)も使用前よりも綺麗な水への工夫(下流への配慮)

流さない・捨てない 農村関連施設「ゴミゼロ」宣言

土地改良区は多くの経費を負担しています

住民・行政が支える
 「安全・安心」

土地改良区の維持管理経費節減

日本一綺麗な水で農産物を生産

▼ 期間と目標年次

ゴミの問題は、短期間での解決は難しく「ゴミがゴミを呼ぶ」環境の改善や捨てる側の「秩序性」への意識改革を図ることが必要であり、多くの時間と多様な団体との連携による地道な運動を継続していくことが大切であります。

農業用排水路の「水」は「食の安全」に大きく関係し、農業者や地元住民とともに、「人為的なゴミ投棄のない綺麗な水」で農産物を育てることへの関心を高めて行きます。



①実践計画の年次計画

すぐできること、少し考えながらできること、時間をかけてやることを踏まえ、短期計画、中期計画、長期計画に分類整理します。

●初年度(平成22年度)実践計画

- ・農業関連施設におけるゴミ発生状況の調査・観察
- ・ゴミマップを作成し、多くの県民に問題を実感してもらう
- ・モデル施設を設定し、ゴミの分類、発生原因の推定
- ・水土里ネットのゴミ処理実態調査
- ・パンフレットの作成(広報活動)
- ・農地・水・環境保全向上対策との連携

●2年度以降

初年度の実践を基に活動範囲の拡大

●5年度以降

水質の向上と河川ゴミの問題も含め、ゴミ対策流域ネットワークの構築

(問合せ先) 総務企画部広報・渉外班 農業関連施設「ゴミ」問題担当 TEL.018-888-2712